

取引所 F X



くりっく365の説明②

— くりっく365の概要 —



2018年2月

東京金融取引所

本セミナー資料は、株式会社東京金融取引所(金融取)のセミナーでの使用を目的としており、金融取の許可なく転載、複製、改編、再配布、全部または一部の引用等を行うことはできません。また、金融取は本セミナー資料に記載しているデータの正確性に関し、なんら保証するものではなく、当該データに関連するいかなる損害についても賠償する責任を負いません。

東京金融取引所とは -東京金融取引所の事業内容-

当社は、金融商品取引法に基づき、金融商品取引にかかる公的インフラとして、公正性、信頼性、利便性に優れた金融商品市場を整備し、我が国金融・経済の健全な発展に貢献します。



「金融デリバティブの総合取引所」として、現在、金融デリバティブの三大分野である、

「金利」、「為替」、「株式」

すべてをカバーする以下の商品を上場しています。

金利分野

金利先物等取引

為替分野

くりっく365
くりっく365ラージ

取引所 F X

くりっく365

くりっく365ラージ

株式分野

くりっく株365

取引所 株式 指数 商品 取引

くりっく株365



FXには、取引所外国為替証拠金取引（**取引所FX**）と

店頭外国為替証拠金取引（**店頭FX**）がある。

「くりっく365」は、

2005年7月に**東京金融取引所**が上場した、日本初の

「取引所外国為替証拠金取引（**取引所FX**）」

の愛称

店頭FXとの違い

店頭FX



重要!

- 店頭FXは、投資家が店頭FX業者を相手方として取引を行う相対取引
- 店頭FX業者は、業者の裁量で取引レート及びスワップポイントを提示

金融取の「くりっく365」



重要!

- 取引所FX「くりっく365」では、投資家は、「くりっく365」の取扱業者を介して、金融取引という公的な取引所を相手方として取引を行う取引所取引
- 金融取が複数のマーケットメイカーの提示したうちの最良の取引レートを適用

くりっく365の特徴

安心

- 取扱会社は金融取が審査
- 投資家の証拠金は金融取が全額保管

透明

- 世界有数の金融機関が有利な取引価格を提示する仕組み
- 豊富な流動性（取引できる数量）を明示※1

信頼

- くりっく365は公的な取引所が運営するFX
～注文の約定拒否（リジェクト）なし～
～不自然なスリッページの心配なし～※2

※1 相場の急激な変動時等には、インターバンクマーケットでの取引数量が少なくなることから、スプレッド幅が広くなったり、買気配または売気配が提示されずに投資家の皆様が取引を行えない等の不測の事態が発生する可能性があります。

※2 「くりっく365」では、マーケットメイカーの提示した価格をそのままの価格で投資家の皆様へ提示しています。したがって「くりっく365」は、投資家に不利なスリッページばかりが発生するような恣意的なことは起こり得ない仕組みとなっています。

くりっく365の特徴

「くりっく365」手数料は無料



一般的に取引所取引には取引手数料が必須



取引所では画期的な手数料 **無料化** を実現



投資家は取引手数料を気にすることなく取引可能

くりっく365のспредはやや広くなっていますが、金融取は**公的インフラ**として投資家にとってのベストを目指し、市場運営しています。

くりっく365 の特徴

「くりっく365」のスワップポイントは一本値

スワップポイントとは 2 国間の通貨の金利差の相当額



高金利通貨の買いポジションを持つと



受取

高金利通貨の売りポジションを持つと



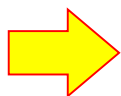
支払

出所: 各社HPより

	くりっく365	店頭FX業者
スワップ ポイント(例)	一本値	受取額 < 支払額
	+112円受取	+109円受取
	▲112円支払	▲114円支払

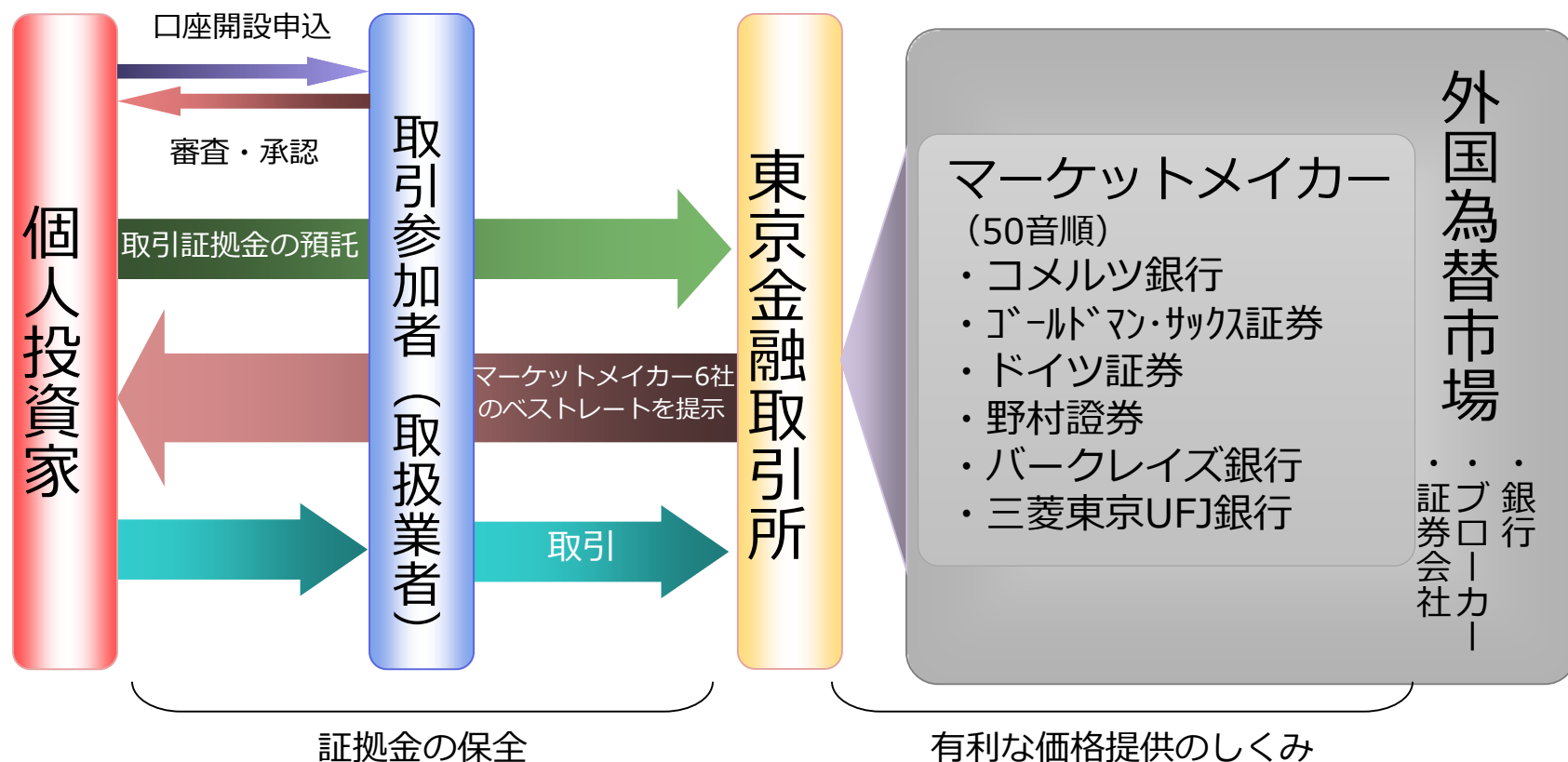
※くりっく365のスワップポイントについては、全ての店頭FXと比較し、常に受取額が多い、または支払い額が少ないということではありません。

くりっく365



金融取も取扱業者もスワップポイントからは利益は得ていません

くりっく365の取引の流れ



取引参加者の健全性チェック、証拠金の保全、公正な価格提供、取引システムの安定性など、あるべき取引のかたちである

投資家に有利な価格提供の仕組み

完全マーケットメイカー制度（例）

マーケットメイカー	買気配	売気配	スプレッド
A社	120.475	120.500	2.5銭
B社	120.455	120.490	3.5銭
C社	120.445	120.485	4.0銭
D社	120.460	120.505	4.5銭
E社	120.465	120.510	4.5銭

スプレッドの差が最も小さい組み合わせが売買価格になる⇒投資家に最適

ゼロスプレッドや
マイクスプレッド
になることもある

「くりっく365」提示レート（例）		
買気配	売気配	スプレッド
120.475	120.485	1.0銭



※為替相場の急激な変動時等にはマーケットメイカー（MM）のレートが提示されない場合があります。平常時においても流動性の低い通貨ペアもあります。全てのMMが全通貨ペアに対してレート提示を行うものではありません。

(参考) と外貨預金との比較

		外貨（定期）預金
取扱機関	ネット銀行、証券会社、商品先物取引会社、FX専門会社 等	銀行や信用金庫 等
取扱時間	約24時間（土・日除く）	取扱機関の営業時間
手数料	無料（※） スプレッド（売買価格差）1ドル＝3銭程度	1ドル往復で2円程度
取引	売りからも買いからも可能	買いからのみ
利益機会	円高・円安どちらも可能	購入時より円安に動いたとき
取引レート	常に変動	基本的に1日1回
資金効率	レバレッジ取引が可能	レバレッジ取引不可



商品概要

米ドル/円(1米ドル110円と仮定)

取引単位

• 取引単位 = 1万米ドル

取引金額

• 取引金額 = 1万米ドル × (110.00円) = 1,100,000円

証拠金基準額

• 取引証拠金(証拠金基準額) = 43,720円 <2018/2/12～2018/2/16>

呼値単位

• 0.005(円)

(最小変動値幅)

• 最小変動値幅(0.005(円))の値動きで、50円の損益(0.005×10,000円)となります。

取引期限

• なし(限日取引)

取引時間

• 付け合わせ時間帯 (NY夏時間非適用 ※NY夏時間の場合は1時間前倒し)

• [月] 午前7:10～翌日午前6:55 [火～木] 午前7:55～翌日午前6:25 [金] 午前7:55～翌日午前5:30

休業日(原則)

• ①土曜日、日曜日 祝日取引可能

• ②1月1日(1月1日が日曜にあたる時は1月2日)

スワップポイント

(買い保有の場合)

• プラスであれば受け取り、マイナスであれば支払い。[2018/2/6⇒+57円]

取引成立方法

• 完全マーケットメイク方式

• 複数の金融機関から価格の提示を受け、そのなかから投資家にとって最も有利な価格を提供する仕組み

損益の計算方法

• 評価損益、決済損益、スワップポイントは、すべて円換算で計算されます。

「くりっく365」取引のリスク

「くりっく365」には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

【価格変動リスク】

取引対象である通貨の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きい場合、相場状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく、円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります（コンバージョンリスク）。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずに、スワップポイントの増減や受払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

「くりっく365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットをして取引が成立する方式を取っています。そのため、状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼び値や売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【信用リスク】

「くりっく365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく365」取扱会社に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害等リスク】

金融取及び「くりっく365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等は、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

以上

取引所 F X

